

片山健 (かたやまけん)



<経歴>

1976年新潟県生まれ。03年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修士課程修了、大学美術館首席買い上げ賞受賞。04年同研究科研究生修了。石彫を中心に、シンプルな中にも、繊細な色味、曲線によるやわらかさを取り入れた表現を目指している。05年より取手市内にあるアトリエ蔵にて制作。

<主な活動歴、発表歴>

- 2001 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻一年生展  
『向かい合う意識～原風景～』  
銀座ギャラリーせいほう／東京
- 2002 『日韓共催 グループ展』  
東京藝術大学彫刻科玄関ギャラリー／東京
- 2003 東京藝術大学大学院修了制作展  
東京藝術大学／東京
- 2003 「SPRING BORD展」  
上野駅「Breakステーションギャラリー」／東京
- 2004 片山健 増井岳人 「二人展」  
東京藝術大学学生会館／東京
- 2005 「r」@ umu in Roppongi Hills group exhibition  
六本木ヒルズ内テレビ朝日「UMU」スペース／東京
- 2005 日韓友好年2005認定事業  
「未来は今日から」展  
ソジョンギャラリー／韓国
- 2005 茨城県取手市産業祭 「取手画廊」出品  
取手／茨城
- 2006 「A Happy New Art」展  
六本木ヒルズ内テレビ朝日「UMU」スペース／東京
- 2006 2nd 「r」展 in 韓国文化院  
韓国文化院8Fギャラリー／韓国
- 2006 「千姫誕生記念特別展」  
茨城県常総市水海道 飯沼弘経寺／茨城



展示風景 (撮影: 松隈健太郎)

# TAP2006 Satellite Gallery

取手アートプロジェクト2006  
サテライトギャラリー

## 片山健

# Ken Katayama

「やわらかな硬さ」

今回出展した3点の作品は、三種類の異なった御影石で作られています。「大地のかけら」は、茶色い御影石を使用しており、その模様から大地から生まれてきた印象を強く感じてつけられた題名です。「赤い石」は、赤御影石の上面を鏡面に磨き、側面は割れ肌を残すことによりコントラストを付け、石の持つ鮮やかな赤いや模様の美しさを強調しました。「edge」では、黒御影石の側面を手彫りで荒く仕上げ、先端に行くにしたがい磨くことでコントラストを付けて、エッジを強調しました。それぞれ木々や花や苔など自然と調和し、落ち着いた「和」の雰囲気を感じさせる作品にしたいと思って制作しました。3点共に制作段階においてイメージしたものはありますが、先入観を持たず自由に観て頂きたいので、何をイメージしたのかはあえて伏せておきたいと思います。芸術作品には触る事ができない物が多いですが、今回は自由に触ることにより色々なイメージを持って頂ければと思っています。

発行: TAP2006実施本部

〒302-0004 茨城県取手市取手 3-4-11 カタクラショッピングプラザ5階

TEL/FAX:0297-72-0177 e-mail: tap-info@ima.fa.geidai.ac.jp http://www.toride-ap.gr.jp

TAP2006サテライトギャラリー

主催: 取手アートプロジェクト実行委員会 助成: 文部科学省「現代的教育ニーズ」取組支援プログラム 協力: カタクラショッピングプラザ

2006年6月2日～6月25日